
メ〜テレ 横井正彦社長定例記者会見

メ〜テレ（名古屋テレビ放送）は3月23日に定例社長会見を開きました



メ〜テレ代表取締役社長 横井正彦

会見の要旨は、以下の通りです。

平素から皆さま方には格別のご支援をいただき、誠にありがとうございます。2014年6月に社長に就任し、定例会見としては今回が4度目になります。どうぞよろしくお願いいたします。

メ〜テレは去年4月に開局55周年を迎え、『もっと!地元応援団』をスローガンに、自社番組のコーナー企画や特別番組、イベントと様々な取り組みを行ってまいりました。周年期間は今月末をもって終了しますが、『もっと!地元応援団』に象徴される、地域に寄り添い、地元を盛り上げるという私たちの姿勢に変わりはありません。

それでは、始めに視聴率からご報告させていただきます。

2017年度の視聴率は、正式には4月1日をもって確定しますが、現時点で、「全日」「ゴールデン」「プライム」帯が3位、「プライム2」が2位で推移しています。特に第4クールで盛り返し、自社制作番組、朝・夕の生放送番組も好調です。

2018年3月23日

月曜から金曜の朝の「ドデスカ!」は、去年1年間を通して、1部、2部ともに歴代最高視聴率を記録しました。夕方の「UP!」は、去年の4月からローカル制作枠を拡大し、より地域に密着した情報を充実させ、視聴率も上がってきています。土曜朝の「デルサタ」も、おととの放送開始から徐々に視聴率を上げ、この春、大きくリニューアルします。また、テレビ朝日、朝日放送との共同制作で10月にスタートした全国ネット番組「サンデーLIVE!!」も、放送を重ねるにつれて視聴率も向上し、視聴習慣が根付いてきていると手ごたえを感じています。

続きまして、今期の決算の見込みについて、ご説明します。

まず、売上です。1月末の時点では、名古屋地区全体のスポット市況の伸び悩みなどにより、前期にわずかに及ばない見込みでした。期末まで残り少なくなりましたが、増収の達成に向けて全社一丸となって取り組んでおります。

また営業利益については、55周年の事業費などにより当初から減益の見込みでしたが、自社制作レギュラー番組の好調を受けて提供収入が増加したことなどにより、減益幅を大幅に小さくすることができる見通しです。業績の詳細につきましては、今期の決算が確定した後、6月上旬に経済記者クラブで説明させていただく予定です。

2016年度からスタートした5年間の第4次中期経営計画は、来年度からの後期3年間で「中計4.4」として再構築しました。

5GやAIといった技術革新によって、近い将来、テレビをとりまく環境は大きく変わると想定しています。その新しい環境の下、私たちが地方局としての役割を果たすために何をすべきか、再確認しました。

好調な情報ワイド番組を更に強化し、バラエティやドラマ、またイベントなど、地上波だけにはこだわらない、様々な出し口、ウィンドウを想定した番組作りにチャレンジしてまいります。そのために、グループ会社である名古屋テレビ映像、名古屋テレビ事業、名古屋テレビネクストとの連携をより深め、私たちの強みであるコンテンツ力を、一丸となって高めて行きたいと考えています。

続きまして、次世代放送への取り組みです。

メ〜テレでは「次世代放送の先進局」を目指し、他局に先駆けて研究に取り組んでおります。今年度も、ドラマ「名古屋行き最終列車」の4K版が、ひかりTVのチャンネル4Kで配信されたほか、四国の雄大な自然を4Kで収めた「四国、秘境をめぐる 仁淀ブルーと秘湯祖谷」が、先進映像協会ルミエール・ジャパン・アワードで特別賞を受賞するなど、高く評価されました。

他にも、中部ブロックの系列5局をネットし、放送と連動したハイブリッドキャストによる4K配信では、民放で初めて、一部のコンテンツをエリアごとに差し替えるなど、新しい取り組みも行ってきました。

また、メ〜テレは2015年からいち早く8K制作にも取り組んでいます。特に去年は総務省検証コンテンツとして、ダンスをテーマにした動きの速い8K映像を制作しました。8Kは4K以上の臨場感、精細感を活かし、広告媒体・イベント・防災・医療など様々な領域での活用が期待されています。そこでメ〜テレは今月、在名民放局として初めて、自社で8Kカメラを導入します。今後8K技術を持つパートナーと連携し、様々な活用方法を調査研究していきます。

8Kとともに注目の映像技術である仮想現実、VR（ヴァーチャルリアリティ）についても取り組んでいきます。メ〜テレでは神戸市の協力のもとでVR作品を制作し、来月に神戸で開かれるクロスメディアイベント『078』に出展を予定しています。

今後も新たな技術や規格を研究し、放送サービスと融合させていくことで、技術の進化を視聴

2018年3月23日

者の皆様に還元していきたいと考えております。

さて、ここからメ〜テレの春からの新しい取り組みについて、皆様にお知らせしたい点を何点か申し上げます。

まず、番組編成についてですが、土曜日の午前帯で『4月からは「あさ」も「ひる」も「デルサタ」!』と題し、朝6時半から放送中の「デルサタ」に加え、午前11時から新番組「デルサタ11」をスタートします。視聴率好調な「デルサタ」のMC、よゐこの濱口優さんと鈴木ちなみさんが「デルサタ11」でもMCをつとめます。

メ〜テレではドラマの分野にも力を入れ、新年度も3か月単位で年間通じてドラマを放送します。4月からは連続ドラマ「ミュージック♪〜秘密の歌園〜」を放送します。主演の平祐奈さんをはじめ、旬の若手女優が多数出演するというところで、早くも注目を集めています。

また、メ〜テレが社を挙げて取り組んでいる、他業種との「コラボ」の一環として、昨年10月、中京大学から5人の学生を受け入れ、インターンシップ研修をスタートしました。そしてこのたび、一期生によるコンテンツが完成し、本日、YouTubeのメ〜テレチャンネルで公開の運びとなりました。

同じく他業種とのコラボ企画として、株式会社宣伝会議と連携した動画の公募コンテスト「モノがたりアワード」の第2回を実施します。

イベントの分野では、9月に新たな音楽フェス「メ〜テレ MUSIC WAVE SUNNY TRAIN REVUE」を実施します。

今後とも引き続き、メ〜テレへのご指導をよろしくお願いいたします。

以上